

題材名『お気に入りの場所～感じたことを伝えたい～』

(6時間)

【題材について】 ※PR文 「描きたい場所を自分で見つけ、お気に入りの場所を再確認！」
 日頃、何気なく見ている身の周りの風景を、自分の心のフィルターをかけて見ることで、その場所のよさを感じとったり、改めて自分の生活を見つめ直したりすることができる。描きたい場所を自分で見つけ、お気に入りの場所との関わりを通して、自分が描きたい場所を描きたいように描き出す喜びを味わわせたい。また、鑑賞を通して、お互いの表現のよさだけでなく、作者の表現の主題を感じ取る見方ができるようにしたい。

- 【題材のめあて】
- ◎ 自分の主題（一番表したいこと、その場所から感じたイメージなど）がよく表れるように構想を練り、水彩絵の具の特徴を生かした色合いや筆づかいを工夫して、絵に表わす。(技能)
 - ◎ 身の周りの風景から描きたい場所を見つけ、自分の思いの大切にして描いていく喜びや作品を見合う楽しさを味わうとする。(意欲・態度)

学習の展開	
学 習 活 動	教 師 の 支 援 (☆個別支援アイテム)
1 題材と出合い、めあてを確認する。	☆教科書の絵(作品)を鑑賞して、作者の思いを想像することで、題材のイメージがつかめるようにする。
2 お気に入りの場所を見つけ、構想を練り、ピグマペンまたはえんぴつでスケッチする。	○描きたい場所を自由に選ばせ、その場所で対象と向き合って表現できるようにする。 ☆画用紙の大きさ、形を数種類用意し、自分で選択できるようにしておく。
3 水彩絵の具を使って、色合いや筆づかいを工夫して表現する。	○水彩絵の具の使い方や特徴について再確認し、多様な表現ができるようにする。
4 鑑賞会を開き、互いの作品のよさを見つける。	☆鑑賞カードを用意する。

【成果と課題】・・・ヒット題材にするためには？

- 描きたい場所、画用紙の大きさなど、自分で選ぶことで、“描かされた感”がなく、自分の思いのままに表現することができた。対象とじっくり向き合って描くことができた。
- 表現の視点、鑑賞の視点があいまいになり、この題材で何をねらうのか明確でなかった。
- 描きたくなるような題材名の工夫、見たくなるような鑑賞の工夫が足りなかった。

